

# 西中われら



学校の教育目標：自ら学ぶ 共に生きる 努力一輪 4本柱：授業、挨拶、掃除、合唱

## 全校の手で創り上げた 感動の体育大会！

校長 細井 孝治

早いものでもう7月。夏休みまで3週間余りとなりました。期末テストが終わり、今週末には、いよいよ中体連地区大会も本格的にスタートします。梅雨明けはまだですが、放課後には部活に燃える生徒の熱気が西中を包みます。悔いのないよう全力を出し切ってほしいと願っています。

さて、6月1日（木）に体育大会を実施しました。4年ぶりの全校での開催、保護者や来賓の方々にもご参観をいただく中、西中学校らしいエネルギーで、温かくて、メリハリのある体育大会を、見事に自分たちの手で創り上げました。来賓の皆様からも、「最初の選手宣誓で感動し涙…、仲間と築いた絆を大切に、これからは様々なことに挑戦してほしい！」「一日中、感動しっぱなしでした。みんなカッコ良かったです。頑張る姿、良かったです！」「皆さんのテキパキした行動も、先生方も一緒に盛り上げる姿も良かったです！」「一生懸命の顔が本当に素敵で涙が出ました。全校で行う体育大会って、こんなに良いものだったんだと気づかされました。」など、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。ありがとうございました。



体育大会当日は、生徒たちが期待通り最高の姿を見せてくれました。勝利を目指す力強い眼差し、運動場いっぱい響き渡るはつらつとした声、エネルギー溢るキビキビとした動き、とても素晴らしいかったです。また、最後の最後まであきらめず、勝利を信じ仲間と共に全力を出し切って競技したり声をかけあったりする姿、疲れていても団リーダーや係の仕事を、懸命にやり抜こうとする生徒たちの姿に、目頭がじんと熱くなるような感動を何度も覚えました。

生徒たちは、自分たちの手で心に残る最高の体育大会を創り上げようと、当日はもちろんのこと、それまでの練習や日常生活にも全力で取り組んできました。その姿勢は実に見事なものでした。

多くの学校で、練習や体育大会当時は頑張るけれど、日常生活がおろそかになってしまうケースをよく見かけます。しかし、西中学校は違います。「日常こそ大切である」「日常の延長線上に体育大会の成功がある」と考え、毎日の生活や授業から一つ一つの活動の場で自分を出し切る努力をし、

自己を成長させてきました。そうした姿勢や心の在り方は、当然、体育大会の練習や当日にも確実に生かされていました。



子どもは中学校の時期に、体だけでなく心が大きく成長します。体は徐々に大きくなっていきます。一方、心の成長は普段はそれほどではありませんが、ある時期、ある瞬間にぐんと大きく成長します。「節」で育つのです。まさによき「節」となりました。